

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 佐賀県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	佐賀県医療センター好生館	2
佐賀市	佐賀市立富士大和温泉病院	3
唐津市	唐津市民病院きたはた	4
多久市	多久市立病院	5
小城市	市民病院	6
太良町	町立太良病院	7
伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院	8

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	佐賀県
		市町村・組合名	
		病院名	佐賀県医療センター好生館
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	832,832	
決算規模(千円)	439,921,412	
標準財政規模(千円)	255,840,916	
財政力指数	0.35017	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	115.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,395			
1 経常収益	12,395			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,395			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,395			
2 経常費用	12,395			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,395			
(うち支払利息)	12,395	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	佐賀県
				市町村・組合名	佐賀市
				病院名	佐賀市立富士大和温泉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,392 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	54	76.6	81.9	87.9
療養	44	56.3	50.2	50.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	67.5	67.7	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.1	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	236,372	
決算規模(千円)	98,729,411	
標準財政規模(千円)	52,247,519	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,468,238			
1 経常収益	1,468,238			
(1) 医業収益	1,180,518			
入院収益	622,922			
外来収益	465,297			
診療収入計	1,088,219			
その他医業収益	92,299			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	287,720			
(うち国・都道府県補助金)	730			
(うち他会計補助・負担金)	191,156			
(うち長期前受金戻入)	85,221			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,424,262			
2 経常費用	1,424,262			
(1) 医業費用	1,352,333			
職員給与費	833,249	70.6	55.7	72.6
材料費	163,038	13.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	108,083	9.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,510	4.4	11.0	5.6
減価償却費	117,661	10.0	9.0	11.1
経費	230,861	19.6	23.3	31.9
(うち委託料)	130,535	11.1	11.5	13.0
研究研修費	2,370			
資産減耗費	5,154			
(2) 医業外費用	71,929			
(うち支払利息)	35,687	3.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	43,976			
純損益	43,976			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		97.7	97.4
医業収支比率	87.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.1		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,792,400
1 固定資産	1,555,575
(1) 有形固定資産	1,555,575
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,236,825
(1) 現金及び預金	1,047,180
(2) 未収金及び未収収益	183,451
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,194
3 繰延資産	-
負債合計	2,094,329
1 固定負債	1,571,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,571,104
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	291,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,408
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	58,171
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	231,998
(1) 長期前受金	2,236,556
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,004,558
資本合計	698,071
1 資本金	128,800
2 剰余金	569,271
(1) 資本金剰余金	100,096
(2) 利益剰余金	469,175
負債・資本合計	2,792,400
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収益(千円)	1,144,224

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,886	227,450
資本勘定繰入	108,649	112,998
計	334,535	340,448

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	佐賀県
		市町村・組合名	唐津市
		病院名	唐津市民病院きたはた
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,573 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	56	79.7	81.0	81.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	79.7	81.0	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	122,785	
決算規模(千円)	69,792,579	
標準財政規模(千円)	33,800,958	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	115.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.2
修正医業収益(千円)	500,000

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	621,656			
1 経常収益	621,608			
(1) 医業収益	539,688			
入院収益	330,740			
外来収益	139,206			
診療収入計	469,946			
その他医業収益	69,742			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	81,920			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	58,240			
(うち長期前受金戻入)	17,986			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	48			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	613,529			
2 経常費用	608,953			
(1) 医業費用	586,915			
職員給与費	278,352	51.6	55.7	72.6
材料費	33,147	6.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	7,682	1.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,550	4.2	11.0	5.6
減価償却費	44,985	8.3	9.0	11.1
経費	229,068	42.4	23.3	31.9
(うち委託料)	62,522	11.6	11.5	13.0
研究研修費	1,209			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	22,038			
(うち支払利息)	10,408	1.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	4,576			
損益				
経常損益	12,655			
純損益	8,127			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		97.7	97.4
医業収支比率	92.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,618,611
1 固定資産	1,348,304
(1) 有形固定資産	969,233
(2) 無形固定資産	29,071
(3) 投資その他の資産	350,000
2 流動資産	270,307
(1) 現金及び預金	206,022
(2) 未収金及び未収収益	62,490
(3) 貸倒引当金()	87
(4) 貯蔵品	1,882
3 繰延資産	-
負債合計	915,284
1 固定負債	601,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	444,241
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	156,914
(7) リース債務	-
2 流動負債	76,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,584
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,109
(6) リース債務	966
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	238,019
(1) 長期前受金	444,082
(2) 長期前受金収益化累計額()	206,063
資本合計	703,327
1 資本金	137,639
2 剰余金	565,688
(1) 資本金剰余金	177,223
(2) 利益剰余金	388,465
負債・資本合計	1,618,611
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	97,928	97,928
資本勘定繰入	13,996	13,996
計	111,924	111,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	佐賀県
	市町村・組合名	多久市
	病院名	多久市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,363 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	60.8	77.3	73.6
療養	45	67.5	48.8	42.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	63.6	65.1	60.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	17.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	19,749	
決算規模(千円)	14,075,252	
標準財政規模(千円)	5,817,154	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	103.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.1
修正医業収益(千円)	1,289,167

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,487,525			
1 経常収益	1,487,525			
(1) 医業収益	1,328,855			
入院収益	701,350			
外来収益	570,203			
診療収入計	1,271,553			
その他医業収益	57,302			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	158,670			
(うち国・都道府県補助金)	443			
(うち他会計補助・負担金)	117,618			
(うち長期前受金戻入)	17,959			
(うち資本費繰入収益)	16,572			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,539,573			
2 経常費用	1,539,573			
(1) 医業費用	1,480,260			
職員給与費	723,544	54.4	55.7	61.3
材料費	426,650	32.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	304,239	22.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,411	9.2	11.0	8.2
減価償却費	84,219	6.3	9.0	10.2
経費	242,219	18.2	23.3	30.5
(うち委託料)	135,532	10.2	11.5	13.0
研究研修費	3,031			
資産減耗費	597			
(2) 医業外費用	59,313			
(うち支払利息)	511	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-52,048			
純損益	-52,048			
累積欠損金	113,065			
経常収支比率	96.6		97.7	96.5
医業収支比率	89.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.4		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,771,900
1 固定資産	1,046,578
(1) 有形固定資産	1,039,719
(2) 無形固定資産	6,859
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	725,322
(1) 現金及び預金	447,790
(2) 未収金及び未収収益	261,886
(3) 貸倒引当金()	794
(4) 貯蔵品	16,440
3 繰延資産	-
負債合計	780,158
1 固定負債	429,904
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,613
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,528
(7) リース債務	13,763
2 流動負債	215,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,031
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,573
(6) リース債務	7,094
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	120,774
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,543
(1) 長期前受金	248,784
(2) 長期前受金収益化累計額()	114,241
資本合計	991,742
1 資本金	1,104,807
2 剰余金	-113,065
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-113,065
負債・資本合計	1,771,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	157,306	157,306
資本勘定繰入	21,152	21,152
計	178,458	178,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	佐賀県
				市町村・組合名	小城市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該	当
建物面積	5,538 m ²	指定病院の状況	救		輪
診療科数	12	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	56.2	59.1	66.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	56.2	59.1	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	19.5	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	44,259	
決算規模(千円)	22,532,942	
標準財政規模(千円)	11,762,701	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.0
修正医業収益(千円)	993,527

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,164,187			
1 経常収益	1,164,187			
(1) 医業収益	1,031,518			
入院収益	608,589			
外来収益	338,672			
診療収入計	947,261			
その他医業収益	84,257			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	132,669			
(うち国・都道府県補助金)	936			
(うち他会計補助・負担金)	88,819			
(うち長期前受金戻入)	36,899			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,300,975			
2 経常費用	1,300,975			
(1) 医業費用	1,274,549			
職員給与費	809,959	78.5	55.7	72.6
材料費	122,284	11.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	50,622	4.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,644	6.7	11.0	5.6
減価償却費	63,543	6.2	9.0	11.1
経費	208,420	20.2	23.3	31.9
(うち委託料)	83,820	8.1	11.5	13.0
研究研修費	68,634			
資産減耗費	1,709			
(2) 医業外費用	26,426			
(うち支払利息)	4,290	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-136,788			
純損益	-136,788			
累積欠損金	155,466			
経常収支比率	89.5		97.7	97.4
医業収支比率	80.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	79.7		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,110,168
1 固定資産	606,699
(1) 有形固定資産	595,234
(2) 無形固定資産	11,465
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,503,469
(1) 現金及び預金	1,374,659
(2) 未収金及び未収収益	125,309
(3) 貸倒引当金()	101
(4) 貯蔵品	3,602
3 繰延資産	-
負債合計	770,203
1 固定負債	444,912
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,467
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	323,445
(7) リース債務	-
2 流動負債	124,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,335
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,513
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	53,706
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	200,737
(1) 長期前受金	394,504
(2) 長期前受金収益化累計額()	193,767
資本合計	1,339,965
1 資本金	1,417,544
2 剰余金	-77,579
(1) 資本金剰余金	77,887
(2) 利益剰余金	-155,466
負債・資本合計	2,110,168
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	126,810	126,810
資本勘定繰入	23,139	23,140
計	149,949	149,950

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	佐賀県
				市町村・組合名	太良町
				病院名	町立太良病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,164 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	83.0	76.6	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	83.0	76.6	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	18.0	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	8,779	
決算規模(千円)	6,915,599	
標準財政規模(千円)	3,218,476	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,301,455			
1 経常収益	1,271,587			
(1) 医業収益	996,622			
入院収益	645,200			
外来収益	279,295			
診療収入計	924,495			
その他医業収益	72,127			
(うち他会計負担金)	33,517			
(2) 医業外収益	274,965			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	105,403			
(うち長期前受金戻入)	70,425			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,868			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,149,485			
2 経常費用	1,148,922			
(1) 医業費用	1,027,471			
職員給与費	508,697	51.0	55.7	72.6
材料費	143,184	14.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	51,557	5.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,627	9.2	11.0	5.6
減価償却費	135,165	13.6	9.0	11.1
経費	236,619	23.7	23.3	31.9
(うち委託料)	55,066	5.5	11.5	13.0
研究研修費	2,848			
資産減耗費	958			
(2) 医業外費用	121,451			
(うち支払利息)	23,469	2.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	563			
損益				
経常損益	122,665			
純損益	151,970			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.7		97.7	97.4
医業収支比率	97.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	98.6		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,899,870
1 固定資産	1,318,096
(1) 有形固定資産	1,318,096
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,581,774
(1) 現金及び預金	1,419,899
(2) 未収金及び未収収益	154,760
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,115
3 繰延資産	-
負債合計	1,506,923
1 固定負債	1,174,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,019
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	152,564
(7) リース債務	-
2 流動負債	150,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,849
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,816
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,425
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	181,399
(1) 長期前受金	563,539
(2) 長期前受金収益化累計額()	382,140
資本合計	1,392,947
1 資本金	1,343,814
2 剰余金	49,133
(1) 資本金剰余金	33,238
(2) 利益剰余金	15,895
負債・資本合計	2,899,870
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.7
修正医業収益(千円)	963,105

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	138,920	138,920
資本勘定繰入	47,059	47,059
計	185,979	185,979

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	佐賀県
				市町村・組合名	伊万里・有田地区医療福祉組合
				病院名	伊万里有田共立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,283 m ²	指定病院の状況	救臨	感	災地輪
診療科数	25	看護配置	7	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	202	77.5	78.9	84.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	206	76.0	77.3	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	13.9	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	379	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	86.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.1
修正医業収益(千円)	3,361,836

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,884,400			
1 経常収益	3,884,400			
(1) 医業収益	3,570,143			
入院収益	2,649,703			
外来収益	565,850			
診療収入計	3,215,553			
その他医業収益	354,590			
(うち他会計負担金)	208,307			
(2) 医業外収益	314,257			
(うち国・都道府県補助金)	786			
(うち他会計補助・負担金)	152,653			
(うち長期前受金戻入)	146,962			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,840,832			
2 経常費用	3,840,832			
(1) 医業費用	3,689,036			
職員給与費	1,884,257	52.8	55.7	59.8
材料費	612,025	17.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	240,629	6.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	330,706	9.3	11.0	9.2
減価償却費	267,002	7.5	9.0	9.9
経費	914,204	25.6	23.3	27.7
(うち委託料)	283,127	7.9	11.5	12.4
研究研修費	10,091			
資産減耗費	1,457			
(2) 医業外費用	151,796			
(うち支払利息)	40,206	1.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	43,568			
純損益	43,568			
累積欠損金	583,840			
経常収支比率	101.1		97.7	96.3
医業収支比率	96.8		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	91.7		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,441,109
1 固定資産	4,792,090
(1) 有形固定資産	4,605,185
(2) 無形固定資産	4,851
(3) 投資その他の資産	182,054
2 流動資産	649,019
(1) 現金及び預金	138,177
(2) 未収金及び未収収益	493,408
(3) 貸倒引当金()	8,665
(4) 貯蔵品	26,099
3 繰延資産	-
負債合計	4,291,899
1 固定負債	2,472,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,330,570
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	127,194
(6) 引当金	-
(7) リース債務	14,309
2 流動負債	567,079
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,390
(5) 引当金	141,050
(6) リース債務	12,321
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	162,447
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,252,747
(1) 長期前受金	1,965,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	713,096
資本合計	1,149,210
1 資本金	1,291,446
2 剰余金	-142,236
(1) 資本金剰余金	441,604
(2) 利益剰余金	-583,840
負債・資本合計	5,441,109
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	416,280	360,960
資本勘定繰入	96,246	96,246
計	512,526	457,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。